

平成28年度「県民との協働推進モデル事業」 県政課題

県政課題	背景及び趣旨	NPO等に求めたいこと
<p>① 子どもや子育て家庭が気軽に利用できる居場所の整備</p> <p>【担当課】 健康福祉部 青少年家庭課</p>	<p>・共働き家庭やひとり親家庭の増加により、放課後児童クラブの利用児童は増えているが、受け皿は十分でなく、放課後や長期休暇中に安心して過ごせる場所が不足している。</p> <p>・少子化や核家族化、地域社会の人間関係の希薄化により、異世代の子どもや地域住民と関わる機会が減少しており、子育て家庭が孤立し、子育ての負担感や不安感が増加している。</p> <p>・経済的理由による栄養不足や孤食、学力低下などの課題を抱えた子どもが増加しており、子どもの貧困が社会問題化している。</p> <p>・「子ども・子育て支援新制度」など公的な制度が充実しつつあるが、すべてをカバーすることはできず、地域全体での子育て支援が必要となっている。</p> <p>・子どもたちが心身共に健やかに成長し、安心して子育てができる環境をつくるため、地域住民が主体となって子どもや子育て家庭が気軽に利用できる居場所を整備していく必要がある。</p> <p>＜居場所のイメージ＞ 対象:多様な世代が誰でも気軽に利用可能 居場所で行うこと:遊び、各種体験、学習支援、食事の提供など、地域の実情に応じたもの</p>	<p>・子どもの居場所づくりのためのネットワーク構築(民間団体、行政等)</p> <p>・子どもの居場所の運営、管理</p> <p>・問題を抱える子どもの発掘</p> <p>・地域内外への情報発信</p>
<p>② 子どもの成長に重要な『外遊び』の県内各地での推進</p> <p>【担当課】 健康福祉部 青少年家庭課</p>	<p>・少子化やインターネットの普及、遊べる場の減少などにより屋外での集団遊びから、室内遊びへと子どもの遊びが変化しており、自然とふれあう機会や体を動かす機会が減ってきている。</p> <p>・外で体を動かして遊ぶことは、体を強くし、五感の発達を促すことができるなど、子どもの成長の面からも重要である。</p> <p>・一部の地域では、自主的に、子どもたちが想像力で工夫して遊びを作り出すことのできる遊び場、プレーパークなどを開催しているNPO法人や団体等がある。</p> <p>この取り組みをさらに広げ、県内各地で外遊びの推進体制が充実するよう、NPO法人との協働を検討していきたい。</p>	<p>・外遊びの必要性についての情報発信</p> <p>・外遊びモデルの作成</p> <p>・地域のプレーリーダーの育成</p>
<p>③ 地域で家庭教育を支える体制づくりの支援</p> <p>【担当課】 教育庁 社会教育課</p>	<p>核家族の増加や社会の変化とともに家庭教育が困難な社会になってきている。親同士のつながりや家庭と地域とのつながりが希薄になり、親がその役割や子どもとの接し方などを人と関わる中で学ぶ機会が減ってきている。今後、より多くの家庭に対して行政、民間が協働した支援を実施するため、協働の在り方についてNPOと意見交換を行いたい。</p> <p>その上で、NPO 法人と県行政とで家庭教育を支援していく体制を考えていきたい。</p>	<p>・より多くの家庭に対して行政、民間が協働した支援体制の構築</p>

県政課題	背景及び趣旨	NPO等に求めたいこと
<p>④ 次世代を担う若者団体・リーダーの育成</p> <p>【担当課】 教育庁 社会教育課</p>	<p>人口減少とともに地域の担い手は高齢化し、若者が主体的に地域づくりに取り組む機会や青年団のような地域内の若者の団体が減ってきている。今後、住民主体でこれからの地域を考え、地域で取り組むためには、若者が主体的に地域づくりに参加・参画する必要がある。</p> <p>近年、地域のことを考える若者会議の開催や同窓生を中心としたにグループの結成、中高生の地域活動参画を促進するような取組も見られるが、一部の地域や団体単独の取組となっている。</p> <p>そこで、地域づくりを目的に活動している若者がつながり、ともに学び情報交換できる機会を設けることで、若者の主体的な活動を活性化させたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりに取り組む若者の団体のネットワーク化の核となしてほしい (例：教育事務所単位でのネットワーク化と県全体でのネットワーク化) ・若者の団体構成員が切磋琢磨する環境や新しい情報を得る機会を設ける ・若者の団体への情報発信
<p>⑤ 起業家を育成する環境づくり</p> <p>【担当課】 商工労働部 産業振興課</p>	<p>廃業件数が起業件数を大幅に上回る中、地域経済を維持・拡大するためには、新たな担い手となる起業家を増やすことが重要である。そのため、地域において、起業を目指す人を、身近な関係機関が連携し、継続的な支援をする環境を整備することが必要であり、セミナーや個別相談などに取り組まれている。</p> <p>しかし、実際には、事業性の高いビジネスプランの作成やスタートアップに必要な取引先や協業者などのネットワーク構築は困難であり、起業に至るケースは少ない。</p> <p>起業希望者とビジネスの現場を結び付ける「交流の場」、「成長の場」が求められている。</p>	<p>起業家精神の涵養、起業に必要な情報の収集・交換、メンターとの交流、ビジネスプランのブラッシュアップなど、起業家の成長の場として機能する起業希望者と先輩起業家の交流拠点づくり</p>